

連載43

そして音楽の旅は続く

今がいちばん楽しい歌手人生

リリースした2枚のアルバムは嬉しいことにSwing Journal誌(今は廃刊になりましたが歴史ある王道のJazz誌でした)のジャズ・ディスク大賞に2年連続ノミネートすることができました。残念ながら、大きな賞はいただけなかったのだと思いますが、ジャズでは駆け出しの私にとって、まさに快挙でした。私も一生懸命に唄いましたがそれ以上に、スタッフやミュージシャンのおかげでしたので、周りのみんなが喜んでくれたことが何よりも嬉しかったです。しかしこの2枚以降、2023年現在、ジャズのCDは出ていません。なぜかしら?とときどき考えてしまいます。レコーディングしようよ!と声をかけてくれるミュージシャンもいるのですが…。

私のジャズの世界は、ミュージシャンたちが育ててくれていると思っています。それはLIVEのときに挑戦したり失敗したり、時にはうまく共鳴できて気持ちよかったりして、一期一会の音楽的な経験を積み重ねて行くことで、私のジャズの世界が育まれていくのだと感じているからです。そしてそれが、大好き!楽しいのです。レコーディングとはまったく違った快感なのです。歌の伴奏の名手といわれるピアニスト岩谷泰行さんの元から一歩踏み

出して、巨匠のアルトサックス大友義雄さんがご一緒してくれたときなんて、カチカチに緊張しましたが、うっとりする演奏で唄わせてくれたり、その大友さんを中心にして他の巨匠たちとも出会うことができました。ベースの古野光昭さん、トロンボーン向井茂春さん等々…。たくさんいらっしやるので書き切れませんが、普段はインスト中心の巨匠といわれるミュージシャンとのLIVEは、格段に緊張しますし、面白さも格段。そんな楽しいハラハラドキドキを体験しているうちに、レコーディングが後回しになっている状況です。遊びに夢中になって夕方になっても帰ってこない子供みたいなもんですね。正直に申しますと、ジャズに出会ってから今がいちばん楽しい歌手人生が訪れたという感じです。それまでは、好きなこととはいえ売れるため、生活のために唄うことが長く続きました。今は自分のために唄うことができるようになりました。でもそれをやっていたから今があるんですね。人生に無駄な事は無し!良かった、良かった!

こんなにも楽しいLIVEの日々を過ごしていたのですがある日、ジャズ・ヴォーカルの先生にならないかとお誘いが舞い込みました。どんな歌のお仕

ジャズボーカリスト

星乃けい

official website

<https://www.hoshinokei.com>

事でもお引き受けするのをモットーとしていましたが、これは難しいのでとても悩みました。私はYAMAHAのポップコン出身ですが、ヴォーカルレッスンを受けたことがないのです。ジャズというものを岩谷さんに教えていただきましたが、歌のレッスンは未経験。さあ、どうしよう?悩むなあ。



2022年12月、
八百屋ジャズクリスマスコンサートにて

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。